令和8年10月23日
山梨県産業政策部産業振興課
課長　山本　聡一郎
電話 055-223-1543（内線 4700）

報道関係者各位

「山梨県郷土伝統工芸品展」を開催

～職人の技を間近で体験、制作体験も楽しめる１４日間～

期日：１０月２３日（金）～１１月５日（木）場所：伝統工芸 青山スクエア（東京都港区赤坂）

山梨県（知事：長崎幸太郎）では、郷土伝統工芸品の魅力を広く発信し、産業としての発展と県内外への理解促進を目的に、平成６年から「郷土伝統工芸品共同展示会」を開催し、郷土伝統工芸品を一堂に集めた展示及び職人による実演、制作体験などを実施しています。

今年度も、首都圏での認知度向上と販路拡大を図るため、全国の伝統工芸品を扱う「伝統工芸 青山スクエア」（東京都港区赤坂）にて、「山梨県郷土伝統工芸品展」を開催します。

１０月２３日（金）～１１月５日（木）の１４日間、山梨県を代表する工芸品の展示に加え、職人による実演や、来場者が参加できる制作体験を実施します。伝統の技を間近で体感できる貴重な機会です。

報道機関の皆様におかれましては、取材へのご協力をお願いいたします。

【お問合せ先】
山梨県産業政策部 産業振興課 地場産業振興担当
TEL:055-223-1543（内線 4737）　Email: sangyo-sin@pref.yamanashi.lg.jp
※取材をご希望の場合は、施設への事前申請が必要です。必ず事前に当課までご連絡ください。

【展示会の内容】

●展示会名：「山梨県郷土伝統工芸品展」

●開催期間：１０月２３日（金）～１１月５日（木）１１：００～１９：００※

（※１０月２３日（金）は１２：００開館、１１月５日（木）は１８：００閉館）

●会　　場：伝統工芸 青山スクエア（東京都港区赤坂８－１－２２）

●対　　象：どなたでも入場可（制作体験は一部年齢制限あり）

●実施内容：（１）山梨県郷土伝統工芸品の紹介

（２）郷土伝統工芸品１１品目の展示・販売

甲州水晶貴石細工、甲州印伝、甲州手彫印章、甲州雨畑硯、西嶋手漉和紙、甲州武者のぼり・鯉のぼり、甲州鬼瓦、親子だるま、山梨貴宝石、富士勝山スズ竹工芸品、甲州大石紬織物

（３）職人による説明・実演・製作体験

１０月２３日～２４日：甲州手彫印章（体験）山梨貴宝石（実演）

２５日：甲州手彫印章（体験）、西嶋手漉和紙（体験）

２６日：西嶋手漉和紙（体験）

２７日：富士勝山スズ竹細工（実演・説明）

２８日：甲州印伝（説明）

２９日～３０日：甲州水晶貴石細工（実演）

３１日～１１月１日：甲州雨畑硯（実演・説明）

２日：甲州印伝（実演）、甲州印伝（体験）

３日：甲州手彫印章（実演）

４日～５日：甲州印伝（実演）、甲州手彫印章（実演）

※実演、制作体験の詳細は下記「伝統工芸 青山スクエア」ホームページをご覧ください。https://kougeihin.jp/event/20261023/

青山スクエア HP

※山梨県郷土伝統工芸品の詳細については下記ホームページをご覧ください。

https://www.pref.yamanashi.jp/shouko/kogyo/densan/index.html

山梨県 HP

【郷土伝統工芸品１３品目について】

山梨県では１３品目の伝統工芸品を「郷土伝統工芸品」に認定しています（うち３品目は国指定の伝統的工芸品）。

■甲州水晶貴石細工（国指定伝統的工芸品）

天然水晶を使用した仏像などの室内置物や、ブローチなどの装飾品。御嶽昇仙峡で水晶の原石が発見されたことから始まります。江戸時代には水晶研磨の技術が高められ、明治時代にかけては水晶に細工を施す技法が生まれました。この水晶の研磨や彫刻の高い技術は、ジュエリー産地山梨の礎にもなっています。

■甲州印伝（国指定伝統的工芸品）

山梨県に 400 年以上も前から伝わる革工芸品。しなやかな鹿革に漆で模様付けする独特な加工方法で、使い込むほどに手に馴染み、愛着が増します。伝統的な柄に加えておしゃれに使える柄やデザインも多く、世代を問わず人気です。

■甲州手彫印章（国指定伝統的工芸品）

山梨の印章産業の歴史は、御岳山系に良質で巨大な水晶鉱が発見されたことから始まります。明治時代に入り、一般の人々も印章を使うようになると、山梨の印章は江戸時代に築いた行商ルー

トで日本全国に一気に広がり、その名を広く知られるようになりました。現在では職人によって新しい印材を取り入れた「伝匠印」というブランドが生み出されました。

■甲州雨畑硯

約 300 年前に早川上流で発見された「雨畑真石」と呼ばれる石材からつくられる雨畑硯は、水分の吸収が少なく、墨おりのよい優れた硯です。実用だけでなく、芸術的作品としても高い評価を得ています。

■甲州大石紬織物

河口湖北岸に位置する大石地区で江戸時代から続く手織による絹織物です。明治、大正のころに改良が重ねられ、現在の大石紬となりました。大石紬は丈夫で軽く柔らかく、また堅牢で、綿織物と紬織物の良さを併せもつ独自の風合いがあります。

■西嶋手漉和紙

武田信玄の任により誕生し、さまざまな技術や素材の改善を経て生み出された和紙で、独特の墨色の発色やにじみ具合、筆ざわりが特徴です。書道半紙やブライダル用紙などの高品質な和紙を作っています。

■甲州武者のぼり・鯉のぼり

武士の旗差物から始まった武者のぼり。山梨でも江戸末期頃から、我が子が武田信玄公のように強く大きく育ってほしいという願いを込め、勇敢な武者絵巻として端午の節句ののぼりとして立て始められました。江戸時代から変わらぬ技法で、綿 100%の生地に、下絵も当時のものを使用してすべて手作業で染め上げています。

■甲州鬼瓦

南アルプス市若草の加賀美地区で江戸時代中期から作られている鬼瓦は、伝統技法を用いてすべて手作りしています。厳しさと優しさがミックスされた表情が人気。大小さまざまなサイズがあり、一家のお守りとして好評です。

■親子だるま

約 400 年の歴史を持つ、全国でも珍しい子どもを腹に抱えたユニークなスタイルのだるまです。子なのにヒゲがあるのは、親よりも立派になってほしいという親心から。独特な愛らしい姿で人気を集めています。

■市川大門手漉和紙

起源は平安時代にさかのぼり、中世末からは武田家の御用紙として、江戸時代には幕府の御用紙として保護され発展しました。楮、三椏を原料に美術紙、画仙紙などを漉いていて、ぶどうの樹皮を用いた新しい紙づくりも行われています。

■山梨貴宝石

熟練した職人の手により、何通りもの工程を経ながら水晶の原石を磨き上げることから生まれる美しい宝石。リングやペンダント、ネクタイピンなどさまざまなものが作られています。

■富士勝山スズ竹工芸品

富士北麓に江戸初期からこの地域に伝わるザル作りは、富士山二合目付近に自生しているスズ竹を使います。細かい目としなやかな曲線を描くザルは繊細でありながらしっかりとしていて、実用品としてもインテリアとしても人気です。

■甲州花火

武田信玄時代の烽火や江戸時代の町衆花火から誕生し発展しました。花火大会の他に、祭礼行事の合図などとして音だけの花火も多く打ち上げられています。「神明の花火」をはじめ全国各地の花火大会で打ち上げられ、華々しく夜空を彩っています。

山梨県郷土伝統工芸品展

Yamanashi Traditional Crafts Exhibition

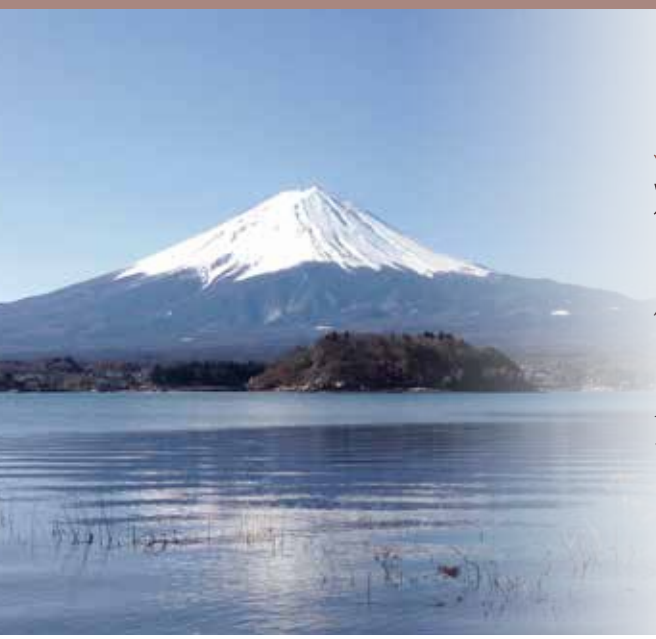
2026 **10.23**(金) ····→ **11.5**(木)

時間 **11:00 - 19:00**
（初日 12:00から / 最終日 18:00まで）

場所 **伝統工芸 青山スクエア**

山梨県の
伝統工芸品について
詳しくはこちら ▶

主催 山梨県 **お問い合わせ** 山梨伝統工芸品産業協会事務局 **TEL.**055-263-6741



山梨県 郷土伝統工芸品展

Yamanashi Traditional Crafts Exhibition

経済産業大臣指定伝統的工芸品の甲州水晶貴石細工、甲州印伝、甲州手彫印章のほか、山梨県郷土伝統工芸品より甲州雨畑硯、甲州大石紬織物、西嶋手漉和紙、甲州武者のぼり・鯉のぼり、甲州鬼瓦、親子だるま、山梨貴宝石、富士勝山スズ竹工芸品が出品されます。

制作実演、製作体験も盛りだくさん。山梨県の工芸品をお楽しみください。

体験

ハンコづくり体験(篆刻)

10月23日～25日
11月 3日～ 5日

¥2,700(税抜き)

紙漉き体験

10月25日・26日

¥1,000(税抜き)

印伝キーホルダー製作体験

11月2日・3日～5日

¥2,200(税抜き)

体験の予約について詳しくはこちら▼

実演

宝石加工

10月23日・24日

ザルの製作

10月27日

水晶貴石アクセサリー・勾玉制作(彫刻研磨工程)

10月29日・30日

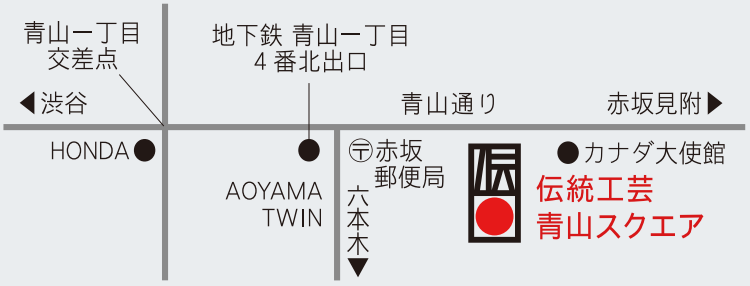
硯の製作(彫り工程)

10月31日・11月1日

2026
10.23(金)…→11.5(木)

時間 **11:00 - 19:00**
(初日 12:00から / 最終日 18:00まで)

場所 **伝統工芸 青山スクエア**



主催 山梨県 **お問い合わせ** 山梨伝統工芸品産業協会事務局 **TEL.**055-263-6741